

INDOOR AIR 2016 でのポスター発表

2016年7月3日から8日までベルギーのアントワープで開催された「THE 14TH INTERNATIONAL CONFERENCE OF INDOOR AIR QUALITY AND CLIMATE」に参加した。この学会では、室内環境の設計、建設、運用、空気質測定と健康科学に関連する研究発表が行われた。

今回、私は「ISO16107 チャンバーを用いたパッシブサンプラーに関する性能評価」という題目でポスター発表を行った。



トルエンなどの揮発性有機化合物を捕集するために分子拡散を利用するパッシブ法は、簡便な手法であるが、環境条件の影響を受けることがある。そのため、使用に当たっては、詳細な検討が必要と考えられる。本研究では、パッシブサンプラーを使用する場合の環境条件の影響を調べるために ISO メソッドに準拠した、温度、湿度、気流速度、ガス濃度を制御できるチャンバーを開発した。また、開発したチャンバーを用いて、様々な条件でパッシブサンプラーによる VOC_s の捕集を行った。これらの結果からパッシブサンプラーによる VOC_s 捕集量への環境条件の影響を統計的手法により評価した。

初めての海外発表であり、世界の先進研究結果を勉強したり、海外の研究者と英語でディスカッションしたり、自身の知識や英語能力の未熟さを感じることもできた。この刺激を受け、今

後の研究や英語学習への意欲をもっと頑張りたいと思う。人生の中でとても大切な体験でした。

薬食生命科学総合学府 環境科学専攻 大気環境研究室

博士後程課程 1年 王 志偉